

Deaf 330 Educating of the Deaf

このクラスでは、ろう教育について多角な視点から学んだ。教授は一つの視点に限らず、ろう学校とメインストリームのメリットとデメリットについて議論を交わさせた。経験からではなく、アカデミックな視点で、どのようにろう学校において手話を取り入れるようにするか、又議会に対してろう学校で手話を取り入れてほしいと提案するならばどうすれば議員を説得できるかなどの課題があった。議員等を説得するには、自らの経験談だけではなく、調査・情報を集めた上での議論力が必要になる。このクラスは、学校で人気のある教授が受け持っているため、ろう者と聴者生徒を含めて定員オーバーだったらしく教室が満員だった。教授の指導方法は、学生達一人一人から意見を聞きながら、平等に対応する姿勢でよかった。更には指導者としてもよいモデルとなり見習うことが多かった。

Deaf-188B Intensive University preparation

このクラスは、ライティング力を高めるクラスであり、毎クラスの度にテーマを決めて書くことを中心したものである。毎回、ライティングの宿題を提出すると教授は一人一人に細かくチェックしてくれ、文法力が弱い私は大いに救われた。またクラスが終わった後にも、教授から個人的に訂正してもらえたので少しずつライティング力は向上できた。それだけでなく、資料の引用（APA : American Psychological Association）の仕方についても習うことができ、大学進学する際に役に立った。クラスは、ろう・難聴者を対象としたクラスのため、手話を使ってのダイレクトなコミュニケーションは私に合致した学習方法であり、自分自身でも最初のクラスと比べて少しずつ上達していることが分かった。

Deaf -189B Intensive University Preparation-Academic reading II

このクラスは、リーディング力を高めることを目的したものであるが、リーディングだけでなく、語彙力を身につけるために新しい単語を毎回とっていいほど習った。クラスを通していつも思うことは、単語の意味を手話で学んだ方がすんなりと頭に入りやすいということである。またリーディングについてもテキストや記事を読んだ後に、教授がテキスト内容を再度説明くれるため、内容確認する上でも特に良かった。英語を理解するには一苦労したが、ライティングよりリーディングが好きな理由は、テキストや記事を通して新しい情報を得ることができるからで、それは楽しみの一つでもあった。

English 101A Reading & writing composition

このクラスは、短大レベルの英語クラスを対象にしたクラスであり、メインストリームだった。前学期は私以外にものろう生徒がいたのだが、今回は私一人だったため、最初は議論やプレゼンテーションをする際、ろう者クラスとの違いに戸惑いを感じていた。授業のスピードが早くついていくのに大変だったが、先生がろう生徒の対応に慣れているのと、前学期で同じ先生だったことで、授業中に議論についていけないかどうか私に確認するなどの配慮をしてくれた。クラスの後にもマンツーマンで対応してくれたりして良い先生だった。また先生が、私が取っていたろう・難聴対象のリーディング/ライティングの担当先生と連絡を取り合っていたためか、個人 Tutor の時に、ライティング力を高めるための助言をもらうなど、サポート制度を整えてくれたので、クラスをついていくのに大変助かった。

Deaf 201 Special Project

このクラスは、リーディング中心のマンツーマンの個人 Tutor だった。English101 のクラスで利用していたテキストは、私にとってチャレンジだったために理解するのに一苦労した。例えば、テキストの中に、移民に関する米国社会の現況について記載されており、米国社会についてまだ知識の浅い私にとっては、テキストを読みながらインターネットで情報を集めそれから理解をする方法、または Tutor の前に自分自身でテキストを読み、その上で先生に手話で説明してもらい、内容が理解できているかどうかを確認した。その後再度自分で読み直すという方法を工夫したが、先生のサポートがあったからこそリーディング力を高めることができた。時間は要したが、このように自分に合った方法で英語習得をした方がやりやすいということと、サポート制度が整えられているので、私にはこのようは教育環境が必要である。